

# チチブベースタイト グラウトN

CHICHIBU Base-Tight Grout-N

チチブベースタイト グラウトNは特殊混和材を用いたセメント系無収縮グラウトモルタルです。プレミックスタイプのため、現場では水を加えるだけで安定した流動性のあるグラウト材が得られ、施工が容易です。

## 特 長

- 無収縮です
- ブリーディングがありません
- 流動性に優れています
- 安定した強度発現性が得られます

## 用 途

- 耐震補強工事
- 機械設備の据付け工事
- 鉄骨基礎工事
- 逆打ちコンクリートの充填
- その他グラウト工事



## 施工上の注意点

- ①練り混ぜ水量は、材料温度、環境温度、ミキサー形式、練り混ぜ量などにより変化しますので、あらかじめ試験練りを行って下さい。水量範囲は、4.25ℓ～4.75ℓです。(標準水量4.5ℓ/袋)
- ②施工は練り混ぜた材料の温度が10～35℃となる範囲で行って下さい。
- ③練り混ぜには高速ハンドミキサー(回転数800rpm以上)やグラウトミキサーを使用し、材料が均一に練り混ぜられたこと(2分程度)を確認してから注入して下さい。
- ④施工面はあらかじめ表面の油類・ホコリ・レイトンス等を除去し十分な水湿し、又は吸水調整剤を塗布してから充填を行って下さい。
- ⑤充填は自重圧又はポンプ圧入とし、流出口からグラウト材が流出するまで連続的に注入して下さい。
- ⑥施工後はグラウトの表面が直射日光や風の影響を受けないように、布・シート等で覆い、湿潤状態で養生して下さい。また、外気温が低い場合は保温養生を行って下さい。

## 標準配合

荷姿	水/粉体比	練り混ぜ水量 1袋(25kg)当たり	コンシステンシー		1袋(25kg)当りの 練り上がり量	1m <sup>3</sup> 当りの標準使用量	
			J14漏斗	テーブルフロー		粉体	水
25kg/袋	18%	4.5ℓ	8±2秒	220±50mm	約13.4ℓ	1,875kg(75袋)	338ℓ

※練り混ぜ水量は外気温、水温、練り混ぜ量、ミキサーの種類によって異なりますので、規定のコンシステンシーになるよう4.25～4.75ℓの水量で調整して下さい。

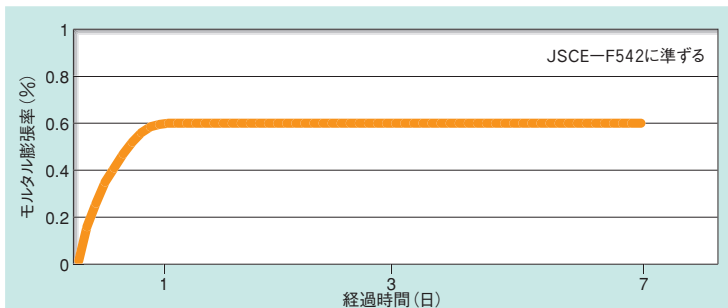
※試験方法/テーブルフロー:JASS15 M-103に準ずる(測定用円筒容器サイズφ50×100mm) J14漏斗:JSCE-F541に準ずる

## 物性値

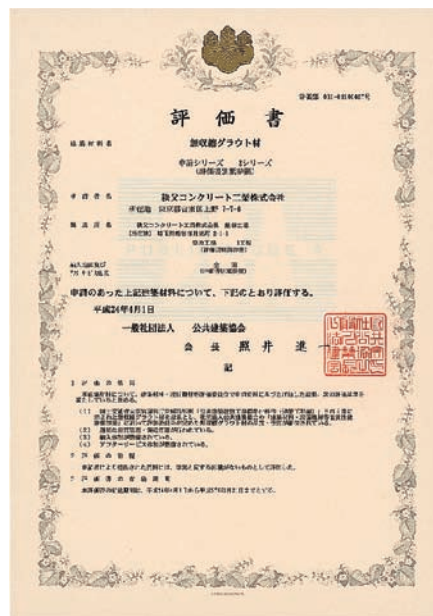
養生温度(℃)	水量(ℓ)	ブリーディング率 (%)	凝結時間(時間一分)		圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )				鉄筋付着強度 (N/mm <sup>2</sup> )
			始発	終結	1日	3日	7日	28日	
5℃	4.7	0	10-40	15-30	3	27	41	50	—
20℃	4.5	0	5-30	7-10	24	44	55	62	3.3
30℃	4.5	0	3-40	4-30	35	51	61	66	—

※試験方法/ブリーディング率:JIS A 1123に準ずる 凝結時間:JIS A 1147に準ずる 圧縮強度:JIS A 1108に準ずる 鉄筋付着強度:JSCE-G503に準ずる(19mm丸鋼使用)

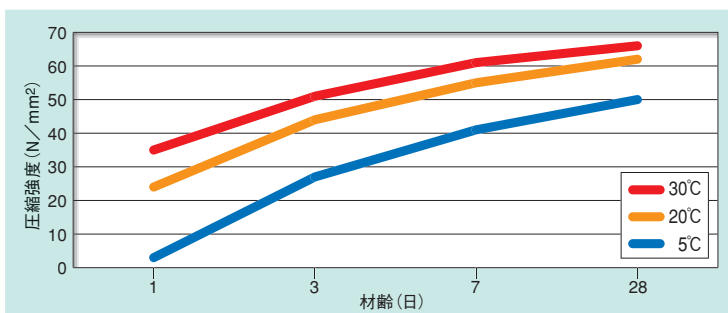
## モルタル膨張率の経時変化



(社)公共建築協会より国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」8章2節(社)公共建築協会の「建築材料・設備機材等品質性能事業」において品質・性能が確保されていると評価されました。



## 各養生温度の圧縮強度



物性値については当社の試験結果であり代表値です。品質保証値ではありません。

本製品の仕様は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。



## 取扱注意事項

本製品はセメントを基材にしており、粉塵がたち易く、強アルカリ性を有します。

直接目に入ったり、皮膚に付着すると失明や炎症をおこすことがありますので、取り扱いには、防護メガネ、防じんマスク、ゴム手袋等を着用して下さい。

皮膚に付着したときは、清水で十分に洗い落として下さい。目に入ったときは清水で十分に洗い、専門医の診察を受けて下さい。

※詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

## 販売店

**株父コンクリート工業株式会社**

本社 〒110-0005 東京都台東区上野7丁目7番6号 TEL: 03-3844-5062  
工場 〒360-0825 埼玉県熊谷市月見町2丁目1番1号 TEL: 048-521-2161